

一般質問レポート

1 市長の政治姿勢について

① リニア中央新幹線について

[向山]

2027年に東京一名古屋間で開業するリニア中央新幹線について、山梨県内では、甲府市大津町周辺に新駅の建設が決まった。新駅周辺の開発では、後藤斎・山梨県知事が、駅周辺地域に木造集合住宅や商業施設の集積を目指す考えを明らかにしている。また、中央市の田中久雄市長は、国際展示場の誘致の検討を表明。サッカースタジアムの建設を選挙で公約に掲げた県議もあり、カジノやホテルが一体となった統合型リゾート施設(通称:IR)の整備促進を訴える声も上がっている。樋口市長は、それぞれの構想にどのように考えているか。新駅周辺開発に対する、樋口市長の具体的な構想の提示を求める。

[樋口雄一 甲府市長]

リニア効果を千載一遇のチャンスと捉え、人口減少対策や産業、観光の振興につなげる必要がある。本年度からは、山梨県や中央市の関係部局で構成する連絡調整会議を設置する。リニア駅周辺に限らず、駅近郊の整備についても県や中央市と連携・協力を深めながら、誘致する施設や土地利用のあり方などについて検討していく。また、本年度と来年度にかけて「リニア駅近郊地域のまちづくりビジョン」を策定し、甲府市としての構想図を描いていきたい。

② 中核市移行について

[向山]

樋口市長は定例会の所信表明で、中核市への移行を目指す方針を示した。中核市移行により、山梨県から甲府市に移譲される権限は1700以上と言われ、新たな保健所の設置も必要となるが、建設費や権限移譲による人件費など多くの経費がかかるが見込まれる。中核市移行による具体的なメリット、中核市移行にかかる費用はどの程度を想定しているのか。中核市移行によるメリットとデメリットを比較考慮した上で、甲府市が中核市移行を目指す理由を求める。

[企画部長]

中核市移行により、きめ細やかで迅速な行政サービスの提供が可能になるとともに、地域保健衛生の充実が図られる。移行による事業費や人件費について、他都市の例では、おおむね地方交付税の増額分で賄われている状況。甲府市の試算では約12億4千万円を見込んでいる。財政的な課題は認識しているが、中核市を目指すことは市民福祉の一層の増進を図るだけでなく、甲府圏域全体の発展をけん引していく県都としての使命だと考えている。平成31年4月1日を目標として、全力で取り組んでいくことにした。

2 市庁舎の窓ガラス落下問題について

① 落下当時の対応について

[向山]

今年2月17日に発生した本庁舎の窓ガラス落下問題は、市民に大きな不安を与えた。重さ約100キロの窓ガラスが落下し、一歩間違えれば死傷者が出てもおかしくない事故。すぐに原因が特定できない状態であれば、来庁者や市職員の安全を第一に考えて、全庁的に立ち入り禁止、緊急点検を行うべきだったと思うが、甲府市が事故を発表したのは、窓ガラス落下から6日後だった。しかも、市が一般の来庁者に窓ガラスを開けないよう、張り紙で呼び掛けたのは事故の公表後だった。なぜ、発表が遅くなったのか。あらゆる緊急事態を想定して危機管理体制を整えるべきだと思うが、市の考え方を示してほしい。

[総務部長]

事故発生後、ただちに2階テラスを立ち入り禁止にし、同じタイプの窓の施錠を行うなど緊急対応を図った。安全確保を第一に、緊急的な対策を組織的に行うとともに、施工業者による緊急点検結果が報告されたので、内容を速報として公表した。今回の事故への一連の対応について、専門委員会からの報告書を踏まえて、庁内の対策会議において検証していく。

② 原因究明と今後の対策及び他の公共施設に対する対策について

[向山]

防災拠点に位置付けている本庁舎で発生した事故ということを踏まえれば、甲府市が負ったイメージ低下は大きく、厳しい姿勢で設計、施工業者の責任を追及するとともに、管理体制に不備がなかったか、検証を進めるべきだ。また原因究明後に関係機関への損害賠償請求を行う考えはあるか。さらに、今回の事故を受け、甲府市が管理する公共施設の点検整備も再度しっかりと行うべきだと考える。公立小中学校など学校施設を含めて、公共施設の天井や照明器具、壁、窓ガラスなど「非構造部」の安全対策にどう取り組むか。

[総務部長]

関係機関への損害賠償請求についても、専門委員会からの報告書を踏まえて、適切に対

平成27年度6月定例会において向山憲稔(創政こうふ)が一般質問に立ちました。一般質問の動画は甲府市議会のHP(議会中継)から見ることができます。質問の要旨は以下の通りです。

応じていく。公共施設などの非構造部材の落下について、安全対策は喫緊の課題と認識している。とりわけ、市立小中学校の体育館などに耐震対策が必要な「つり天井」があるので、本年度から2年かけて改修工事を実施する予定だ。本庁舎の窓枠落下を受けて、全小中学校の窓枠の緊急点検を実施して安全性を確認した。今後においても、公共施設全体で、定期点検を的確に行い、適切な安全対策・維持管理に努めていく。

3 甲府市の空き家対策について

[向山]

山梨県内における住宅総数に占める空き家率は22%で、都道府県別でみるとワースト1位という調査結果がある。甲府市内では計3181戸の空き家が確認されている。市では空き家対策の一環として、空き家バンクやまちなか不動産バンクを開設しているが、これまでの実績と課題点をどう考えているか。現状では、対象地域が限られているが、今後、拡大する考えはあるか。先月26日には、空き家対策特別措置法が全面施行された。特措法は空き家所有者に適切な対応を促す側面では有効だが、並行して空き家を利活用する取り組みが必要だ。空き家の利活用として、中古住宅の流通促進がカギを握っており、不動産会社や建築設計会社の意見を取り入れながら、必要であれば、条例制定も見据えて空き家対策を進めるべきだと思うが、市としての考えと方針を示してほしい。

[市地域政策監]

まちなか不動産バンクについて、昨年10月に創設し、これまでに7件の登録があったが、成約になった物件はない。空き家バンクに関しては、2008年に創設し、これまでに延べ14件の登録があり、延べ7件が成約にいった。所有者の都合により4件が抹消となり、現在の情報提供は3件になっている。また、これまでの利用登録者数は延べ192人で、現在は37人。いずれの制度も登録物件の確保が課題となっている。今後、多様なニーズに対応できるよう制度の充実を図っていく。対象エリアの拡大も検討する。空き家対策については、庁内連携を発展させた「甲府市空家等 総合対策検討委員会」を立ち上げた。特措法を踏まえ、管理不全な空き家への対応策と、空き家の利活用策を両輪とした対策計画を年内をめどに策定する。条例制定の必要性を判断する中で、除去措置をする際の基準や手続き面の整備を行い、除去を支援する方針などを位置付けていく。利活用の対応も甲府市への移住定住対策につながる効果的な施策を構築していきたい。

4 学校教育について

① 危険ドラッグなど薬物に対する施策について

[向山]

近年、全国的に社会問題化している危険ドラッグだが、覚せい剤などと比べて安く容易に入手できるため「ゲートウエー(入り口)ドラッグ」とも呼ばれている。年々、若年化する薬物使用の現状を踏まえ、民間団体の協力を得て、元薬物依存者による「生の声」を聴く機会を設けるなど、早期により充実した薬物教育を行うことが重要だと考える。学校における薬物教育の現状と今後の方針について聞く。

[教育長]

これまでも各小中学校の授業で、薬物乱用防止の学習に取り組んできており、授業以外でも大学教授など外部の方々を招いて学習会を開催している。今後も児童生徒が薬物の危険性を十分に認識できるように指導方法を工夫していきたい。

② 投票率向上に向けた若年層への教育施策について

[向山]

改正公職選挙法が成立し、選挙権年齢が現行の「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられることになった。来年夏の参院選からの導入はほぼ確実で、4年後の県知事選や市長選、統一地方選にも導入される。他県では、選挙を身近に感じてもらうように、教育現場で実際の選挙に合わせて高校生が模擬選挙を実施し、投票を中高生のうちに体験するという取り組みをしているところも見られる。低投票率の要因の一つである若年層の投票率アップにもつなげるため、政治と選挙の大切さを説く教育が求められている。教育現場で政治、社会への関心を育む「主権者教育」について、市の考え方と方針を聞く。

[教育長]

甲府市では、現行の学習指導要領にそって、中学校社会科の公民的分野では、政治の仕組みを理解し、国民の政治参加、選挙の意義などについて考えさせる授業を行っている。また、新聞記事を活用した授業の実践や、すべての小中学校の代表が参加する少年議会の開催などを行っている。今後も出前講座の導入など発達段階に応じた学習内容や、指導方法の工夫を図るよう努めていきたい。

甲府市議会議員 向山のりとし 議会活動報告

未来 NEXT



創刊にあたり

過日の甲府市議会議員選挙において、皆様の多大なご支援ご協力のおかげで初当選を果たすことができ、5月1日より甲府市議会議員としての任期が始まりました。故郷・甲府のため、政治家として仕事ができることに誇りと喜びを感じ、ご支援いただいた皆様に日々感謝しながら、議員活動に動んでおります。この度、市政活動報告の一環として、後援会の機関紙を創刊いたしました。

皆様の声を反映した政治活動になるよう、ご一読いただき、ご意見ご感想をいただければ幸いです。30代の若い力と故郷に対する熱い想い、市民感覚を持って、甲府市議会の場で誠実に、着実に、堂々と活動してまいります。「日本一誇れる街甲府を創る」ために、今後ともご支援ご指導のほどよろしくお願いたします。

向山 憲稔

【発行元】 憲山会 向山のりとし後援会 会長: 切刀正憲
〒400-0053 甲府市大里町2051
Tel: 055-225-6471 Fax: 055-225-6472
Mobile: 080-7758-8021

Mail noritoshi0717@yahoo.co.jp
URL https://www.mukouyama-nextkofu.com
facebook [個人] https://www.facebook.com/mukouyama.nextkofu
[後援会] https://www.facebook.com/mukouyama.nextkofu30

NEXT
GENERATION
KOFU 30

日本一誇れる街
甲府を創る

2015年 夏号

Vol.1



甲府市議会議員選挙 トップ当選!

4月26日投開票の甲府市議選は、定数32に対して44人が立候補する激戦の中で、最年少の向山憲稔がトップ当選を果たした。

得票は5012票で、戦後2番目の記録となった。
当選者は、改選前(定数32、欠員4)と比べて30~40代が6人多い9人となり、人口減少や経済低迷など閉塞感が

漂う中、若い世代に対する有権者の期待が票に表れたとみられる。

注目された投票率は46・69%。大国、大里地区で大きく投票率が伸びたものの、過去最低だった前回(44・15%)をわずかに上回っただけで、過去2番目の低さを記録した。



甲府市議会議員選挙 2015年4月26日投開票

- 定数 32
- 投票率 46・69%
- 無効票 960票
- 立候補 44人
- 投票総数 7万1277票

当選者一覧

得票数	氏名	年齢	党派	現・元・新	当選回数	得票数	氏名	年齢	党派	現・元・新	当選回数
5,012	向山 憲稔	30	無	新	1	1,710	石原 剛 ※1	58	共	現	7
4,375	神山 玄太	32	無	元	2	1,692	池谷 陸雄	72	無	現	3
2,449	山田 厚	63	社	現	5	1,641	岡 政吉	70	無	現	2
2,318	木内 直子	56	共	新	1	1,594	山中 和男	37	無	現	2
2,299	藤原 伸一郎	36	無	新	1	1,574	長沼 達彦	59	無=民推	現	2
2,273	鈴木 篤	57	無	現	3	1,512	坂本 信康	65	無	現	2
2,210	桜井 正富	72	無	現	5	1,453	原田 洋二	70	無	現	3
2,154	清水 仁	65	無	現	4	1,438	広瀬 集一	62	無	現	3
2,106	深沢 健吾	41	無=民推	新	1	1,410	金丸 三郎	60	無	現	7
2,070	望月 大輔	33	無	新	1	1,327	内藤 司朗	56	共	現	3
2,049	兵道 顕司	57	公	現	3	1,319	大塚 義久	64	無	現	3
1,877	佐野 弘仁	51	公	現	2	1,289	天野 一	53	無	新	1
1,850	中村 明彦	57	公	現	2	1,286	清水 英知	43	共	現	2
1,804	小沢 宏至	47	無	新	1	1,186	荻原 隆宏	48	無	現	4
1,790	長沢 達也	51	公	現	2	1,156	末木 咲子	53	無	新	1
1,766	小沢 浩	54	無	新	1	1,112	鮫田 光一 ※2	41	無	新	1
1,744	植田 年美	57	公	現	2						

【略歴の見方】 得票数の案分は小数点以下切り捨て、年齢は投票日翌日基準の満年齢

※1 7月13日に議員辞職

※2 石原剛 氏の議員辞職に伴い繰り上げ当選

新会派「創政こうふ」で活動スタート!

甲府市議会の新しい会派構成が決まり、新人の向山憲稔は、新会派「創政こうふ」に所属することになった。

創政こうふは、24年の歴史がある「新政クラブ」に所属していた現職4人と、向山を含む新人4人による計8人体制。30~72歳の幅広い年齢層と多種多様な職歴の議員がそろった。

所属会派が決定し、向山は「政治家としての基本的な考え方を共有できる構成。会派内で意見を交わし、市政発展につながる政策を提言していきたい」と意気込んでいる。

新会派構成は次の通り。(カッコ内は人数、◎は代表)

- 政友クラブ(13) ◎荻原隆宏、池谷陸雄、原田洋二、大塚義久、広瀬集一、鈴木篤、岡政吉、坂本信康、長沼達彦、小沢浩、末木咲子、深沢健吾、藤原伸一郎
- 創政こうふ(8) ◎桜井正富、金丸三郎、清水仁、山中和男、天野一、小沢宏至、望月大輔、向山憲稔
- 公明党(5) ◎兵道顕司、植田年美、中村明彦、佐野弘仁、長沢達也
- 共産党(4) ◎石原剛、内藤司朗、清水英知、木内直子
- 社民党(1) ◎山田厚
- 無所属(1) 神山玄太

※ 2015年5月1日現在

「経済建設委員会」への所属が決定!

甲府市議会は5月20日、改選後初となる臨時会を開き、議長に政友クラブの池谷陸雄市議、副議長に公明党の兵道顕司市議を選出。樋口雄一市長が提出した議会選出の監査委員に、政友クラブの広瀬集一市議を選任する人事案件に同意した。

各部局の担当者が出席して、予算に関する調査などを行う4常任委員会の構成も決定した。向山憲稔は経済建設委員会への所属が決まり、建設部や産業部の案件を取り扱

うことになる。

向山は「行政の予算執行に対して大胆な発想と市民感覚を持って、委員会の審議に臨みたい」と語っている。

経済建設委員会の構成は次の通り。

(◎は委員長、○は副委員長)

- ▽ 経済建設 ◎岡政吉、○長沢達也、清水仁、小沢浩、藤原伸一郎、内藤司朗、山田厚、向山憲稔(順不同)

当選からの主な活動報告

- 4月26日(日) 甲府市議会議員選挙 5012票を獲得して初当選
- 4月28日(火) 当選証書授与式
- 5月 1日(金) 甲府市議会議員の任期スタート
- 5月11日(月) 甲府市議会全員協議会
~議会の申し合わせ事項協議~
新人議員研修会
- 5月17日(日) 「第23回 甲府市緑化まつり」参加
- 5月20日(水) 甲府市議会臨時会
~議長・副議長を選出、各常任委員会の所属委員を決定~
- 5月28日(木) 甲府市内の公共施設の視察
- 5月29日(金) 甲府市議会全員協議会
~本庁舎の窓ガラス落下問題の経過報告~
- 6月 2日(火) 樋口雄一・甲府市長と会派の意見交換会
- 6月 6日(土) 「平成27年度 水源林植樹の集い」参加
- 6月11日(木) 甲府市議会6月定例会 開会
- 6月16日(火) 甲府市議会6月定例会 代表質問
- 6月17日(水) 甲府市議会6月定例会 一般質問1日目
- 6月18日(木) 甲府市議会6月定例会 一般質問2日目 ~向山憲稔 登壇~

- 6月19日(金) 甲府市議会6月定例会 総務・民生文教常任委員会
- 6月22日(月) 甲府市議会6月定例会 経済建設・水道環境常任委員会
- 6月23日(火) 甲府市議会6月定例会 閉会
- 6月29日(月) 会派「創政こうふ」視察研修
~7月1日(水)~
- 7月 9日(木) 会派「創生こうふ」視察研修(荒川、笛吹川沿い)
- 7月12日(日) 向山のりとし 市政活動報告会
(会場: 甲府市総合市民会館)

